

営農再開地域における 先進的なオーガニック作物生産技術の開発 東京農工大学農学部 令和元年度研究活動報告会

日時：令和元年1月11日(土)13時20分～17時

会場：富岡町生涯学習館 第1会議室

(富岡町文化交流センター学びの森内、

福島県富岡町本岡王塚622-1)

参加費無料(事前申し込み不要)

本事業では、福島県浜通りの営農再開地域にある富岡町と連携し、東京農工大学が有する「復興知」を活用し、福島県浜通りの営農再開において、食用米、酒米品種、耕畜連携が期待できる飼料イネ品種などの科学的な知を活用し先進的な有機、特別栽培によるオーガニック作物生産技術を開発するため、2018年7月より富岡町の拠点を中心に研究活動を開始しています。食用米、酒米品種、耕畜連携が期待できる飼料イネ品種などの科学的な知を活用しICTなどを取り入れたスマート有機農業の推進による先進的なオーガニック作物生産技術を開発し、農業復興、農業振興を支援し、農業収入の安定化と所得の拡大、技術開発・普及等人材育成を目的としています。

富岡町において、本年度の研究活動報告会(公開)を企画いたしました。お誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願いいたします。



プログラム

13:20-13:30 開会挨拶、事業説明

東京農工大学大学院農学府 大川泰一郎

第1部: 富岡町、浜通りにおける農業復興の取り組み

13:30-13:45 富岡町の農業再生について

富岡町産業振興課 畠山信也

13:45-14:00 オーガニック酒米による日本酒醸造の状況について

とみおかプラザ 佐々木邦浩

14:00-14:15 福島大学における農業復興に向けた研究活動

福島大学食農学類 石井秀樹

第2部: 東京農工大学の研究活動報告

1. 良食味水稻品種、酒米、飼料用品種のオーガニック生産技術の開発

(1) 有機・特別栽培に適した水稻品種の生理生態的特性解明と品種開発

14:15-14:30 1) 物質生産動態に及ぼす品種×栽培管理相互作用の解析

真野菜々子・桂圭佑・大川泰一郎

14:30-14:45 2) 深水抵抗性、成長能力、雑草競合性の品種改良

磐佐まりな・安達俊輔・大川泰一郎

14:45-15:00 3) 初期成長、窒素利用効率の品種改良

遠藤覚・安達俊輔・大川泰一郎

15:00-15:15 (2) 未来の作物の光合成能力を自在に操るための遺伝子発現予測モデル

安達俊輔・本田爽太郎・大川泰一郎

15:15-15:30 (3) 客土への緑肥施用が土壌肥沃度の改善、水稻生育に及ぼす影響

光田侑子、川崎裕也、李 哲揆、杉原 創、田中治夫

2. 営農再開地域の作物生産を支援するスマート農業技術の開発

15:35-15:50 IoTによる水稻育苗・水田の遠隔水管理、畑の点滴灌漑システムの確立

見野百萌・桂圭佑・中條拓伯・大川泰一郎

15:50-16:05 オーガニック作物生産を支援するスマート農業技術の開発および実践

東城清秀、澁澤栄、帖佐直、杉原敏昭、小平正和、櫻井俊輔、上脇優人、吉田久展

3. 営農再開地域における有機栽培酒米を活用した「オーガニック日本酒」6次産業化の検討

16:05-16:20 日本酒酒造メーカーにおけるコーシャ認証取得の現状と課題

野見山敏雄・川崎心・岩月龍平・関口翠

16:20-16:35 日本酒の海外展開事業と和牛子牛生産事業

若松弘起・千葉一裕・杉村智史

16:35-17:00 総合討論

閉会挨拶

